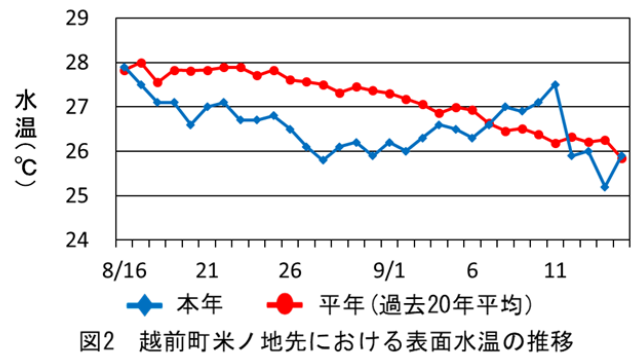
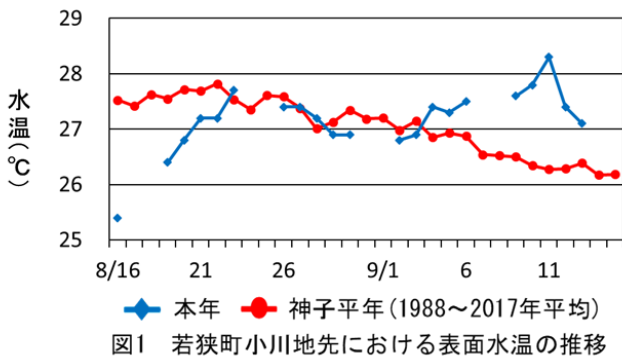




〔海の状況 (8/16~9/15) 〕

- ・小川地先の表面水温… 8月は神子平年よりはなはだ低め (平年差~-1.5℃) から平年並み (平年差±0.5℃) で推移し、9月以降神子平年並み (平年差±0.5℃) からなはだ高め (平年差1.5℃~) で推移した。(図1)  
※神子平年は、1988年~2017年の神子地先の平均値
- ・米ノ地先の表面水温… 8月は平年よりはなはだ低め (平年差~-1.5℃) から平年並み (平年差±0.5℃) で推移したが、9月以降平年よりかなり高め (平年差1.0℃~1.5℃) の日も見られた。(図2)



〔若狭湾および周辺海域の海況：8月〕

8月の若狭湾およびその周辺海域の水温分布は、表層(0m)では、若狭湾で26℃~28℃と前年より水温が低くなっていた。水深50mでは、若狭湾西部沿岸で22℃~24℃と前年より水温が高くなっていた。水深100mでは、若狭湾で16℃~18℃と前年同様であった。水深200mでは、4℃~6℃の範囲が前年より大きくなっていた。(図3)

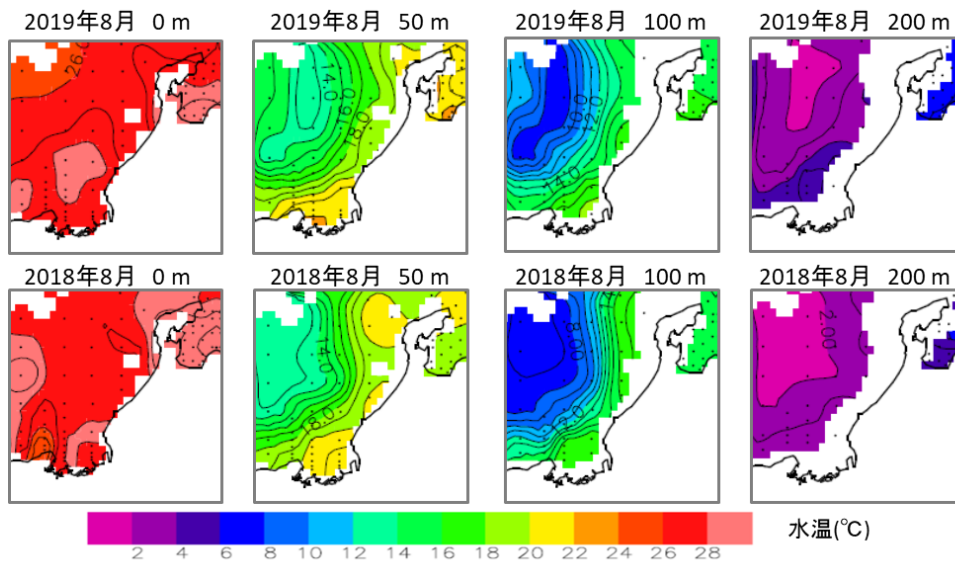
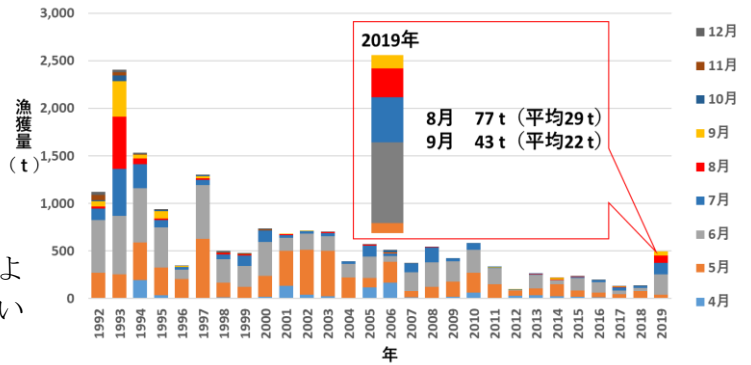


図3 若狭湾およびその周辺海域の水温分布図 (日本海区水産研究所の日本海漁場海況速報より抜粋)

## スルメイカの漁模様 その2

越前町漁協ではスルメイカが9月中旬においても釣獲されています。8月と9月にスルメイカがまとめて釣獲されるのは、1994年以來の25年ぶりです。

全国的にスルメイカの資源状況が悪い中、なぜこの時期に福井県沖で漁場が形成されたのか、はっきりとした原因は分かっていませんが、このような状況が来年以降も起こるのか注目していきたいと思ひます。(漁場環境グループ 長島 拓也)



### 〔県内の漁模様：8月〕

2019年8月の県内の総漁獲量は743 tで、昨年同月を249 t上回った。

#### 〔定置網〕

漁獲量は530 tで、昨年同月を178 t上回った。シイラ、ブリ銘柄(ハマチ・ツバス)等は下回ったが、サワラ、ブリ銘柄(アオコ)、アジ類等は上回った。

#### 〔底びき網〕

漁獲量は22 tで、昨年同月並みであった。主な漁獲物はアカエビであった。

#### 〔釣り・その他〕

漁獲量は190 tで、昨年同月を69 t上回った。アマダイ等は下回ったが、スルメイカは大きく上回った。

表. 主要魚種の漁法別漁獲量(8月)

魚種名	2019年	2018年	平年	前年差	平年差
マイワシ	1,886	1,589	702	297	1,184
ウルメイワシ	7,595	77	865	7,518	6,730
カタクチイワシ	5,957	3,176	7,201	2,781	-1,244
アジ類	28,035	15,660	43,049	12,375	-15,014
サバ類	32,546	29,045	11,539	3,501	21,007
カジキ類	4,556	2,055	5,292	2,501	-736
カツオ類	441	1,354	4,819	-913	-4,378
ブリ銘柄計	99,144	95,703	130,830	3,441	-31,686
(ブリ)	268	412	307	-144	-39
(ワラサ)	4,895	121	4,681	4,774	214
(ハマチ)	19,386	38,684	45,295	-19,298	-25,909
(ツバス)	26,448	34,794	57,669	-8,346	-31,221
(アオコ)	48,147	21,693	22,878	26,454	25,269
ヒラマサ	19,838	11,447	5,580	8,391	14,258
シイラ	52,899	117,203	58,241	-64,305	-5,342
サワラ	230,525	37,845	111,573	192,680	118,952
マダイ	5,092	5,247	5,124	-154	-31
スズキ	8,800	5,141	5,011	3,659	3,789
ヒラメ	926	682	753	243	173
カマス	3,448	2,942	4,066	506	-618
ケンサキイカ	15,249	9,210	8,554	6,039	6,695
その他	15,308	15,871	17,774	-563	-2,466
合計	530,360	352,658	420,270	177,701	110,090

魚種名	2019年	2018年	平年	前年差	平年差
アカガレイ	144	172	82	-28	62
その他カレイ	220	284	267	-63	-47
ハタハタ	755	945	1,589	-190	-834
アカエビ	20,981	18,105	18,512	2,876	2,470
その他	336	555	291	-218	45
合計	22,437	20,061	20,742	2,376	1,695

#### 〔釣り、延縄、さし網、その他の漁法〕

魚種名	2019年	2018年	平年	前年差	平年差
マダイ	750	965	1,856	-215	-1,106
キダイ	15,996	15,186	16,854	810	-858
アマダイ	18,020	20,073	25,763	-2,053	-7,743
スズキ	525	292	1,189	233	-664
メバル類	1,570	1,536	3,066	34	-1,497
スルメイカ	77,261	2,040	2,571	75,221	74,690
ケンサキイカ	969	2,820	7,999	-1,850	-7,029
タコ類	9,400	6,685	13,812	2,715	-4,413
その他	63,629	69,299	100,042	-5,670	-36,412
合計	190,210	121,592	178,081	68,618	12,129

#### 〔全漁法〕

魚種名	2019年	2018年	平年	前年差	平年差
合計	743,006	494,311	619,093	248,695	123,913

※1 平年の値は2009-2018年の10年平均です。 ※2 ( )は銘柄、その他カレイはアカガレイ以外のカレイ類、その他エビはアカエビ以外のエビ類です。

※3 数値は小数点以下を四捨五入しています。

### 〔近隣府県の漁模様〕

(漁獲状況…石川県：8月の定置網1日あたりの漁獲量。京都府：8月にJF京都漁連舞鶴地方卸売市場へ水揚げされた定置網1日あたりの漁獲量。兵庫県：8月の余部定置網1日あたりの漁獲量。鳥取県：8月中旬～9月上旬のまき網1統あたりの漁獲量。)

石川県…定置網…フクラギ・コゾクラ 5.0t、カタクチイワシ 2.8 t、サワラ類 2.2 t、シイラ 2.0 t、マイワシ 1.4 t

京都府…定置網…サワラ類 8.7 t、ブリ 5.5 t、ハマチ 2.7 t、混じり(カタクチ・じんた等) 2.6 t、ツバス 2.1 t

兵庫県…定置網…ツバス 101 kg、シロイカ 76 kg、マアジ 76 kg、スズキ 21 kg、ヒラマサ 20 kg、カジキ 15 kg

鳥取県…まき網…ブリ類 15.5 t、カタクチイワシ 3.2 t、マサバ 1.8 t、マアジ 1.5 t、ウルメイワシ 0.9 t

(漁場環境グループ 長島 拓也)